

キャンプファイヤー



- 活動場所 キャンプ場営火場、集いの広場営火場
 - ・雨天時はキャンドルサービスに変更可能です。
- 持ち物 利用の手引き『夢のアトリエ』にある「団体でご準備ください①」をご参照下さい。
 - ・セレモニー用衣装、キャンプファイヤー用音楽CD、マイクとアンプ等の音響機器、延長コード等は貸し出すことができます。
 - ・救急箱は各団体でご準備ください。
- 活動の実際
 - ①活動前に行うこと
 - ・天候を確認し、担当スタッフと活動場所や内容について確認します。
 - ・借用物品を確認します。
 - ・明るいうちに営火場の事前確認と子どもたちとの打合せを行います。
 - ②キャンプファイヤー開始
 - ・計画にしたがって、キャンプファイヤーを進めます。
 - ・はじめは勢いよく燃えますが次第に火が弱まります。燃え具合を見ながら、井桁の上部から順に崩して中心部へ立てていく等の火の管理をお願いします。
 - ③活動後に行うこと
 - ・参加者に後の活動（入浴、就寝等）について連絡します。
 - ・借用した物品をスタッフに返却します。
 - ・就寝時刻頃まで、薪を燃えやすく組み換えるなどしてできるだけ燃やします。
 - ・翌朝に活動場所を掃除します。（掃除道具は営火場付近に準備しています。）
残り火に水をかけて完全に消火する→燃えかすを所定の場所に捨てる
→残りの灰や燃えかすをほうきで掃く→掃除用具を元の場所に返す
- 活動にあたって
 - 進め方に定型はありません。活動のねらいや設定時間に合わせて、事前の準備をお願いします。
 - ・活動例等の参考資料が必要な場合は、スタッフにご相談ください。
 - やけどにご注意ください。特に、トーチ棒は下に下げないように指導する、トーチは大人が子どもから受け取って井桁の中にくべる等、細心の注意をお願いします。
 - スタンツ等動きを伴う活動がある場合は、営火場周辺の事前確認をお願いします。明るい時と暗い時では、様子が違って見えたり感じたりします。
 - 夏季の場合、日没が遅く暗くなり始めるのが午後7：30頃になります。計画を立てる際はご配慮ください。
- 事前打ち合わせで
 - 営火場は2カ所あります。同じ日に実施する団体がある場合は、実施場所をご相談ください。
 - 自然の家でトーチ棒を作る場合は、活動時間の設定をお願いします。
 - 井桁（6段）と灯油の料金が経費としてかかります。
 - 林野火災警報発令時は、実施できませんので、事前の打合せで代替プログラムについて検討していただきます。

※裏面もご覧ください。

キャンプファイヤー・キャンドルサービス進め方（例）

☆係分担と活動内容☆

役 割	内 容	人 数
営火長	・団体を代表する人で「営火長のことば」をのべる。	1 人
進行係	・プログラムの進行	1人～2人
聖火係	・聖火をもって営火長の先導役。聖火を営火長にわたす。	1人～2人
営火係	・営火長からの火をうけて井桁に点火する。 ・誓いのことばをのべる。	4人～6人

☆進行例☆

	順 序	内 容	進 行
第一部 儀式の火 セレモニー ファイヤー	①	集合・移動 ・営火場近くに集合 ・静かに入場を待つ	
	②	入 場 ・営火床を1～2周しながら円形になる ・進行が開会のことばをのべる	「入場して下さい」
	③	はじめのことば	「〇月〇日。夕日も沈み、ここ保呂羽の山にも夜のとばりがおりはじめました。ただ今から〇〇小学校のキャンプファイヤーを始めます。」
	④	迎え火の歌 ・「遠き山に日は落ちて」を全員で歌やハミングで聖火を迎える	「聖火を迎えます。“遠き山に日は落ちて”を一番は歌詞で、その後はハミングでうたいましょう。」
	⑤	聖火入場 ・ハミングが始まったら、①聖火係はトーチを持ち、②営火長③営火係の順に入場。場内を回り所定の位置につく。	
	⑥	営火長のことば ・①はトーチをあげ②を照らす。②は団体活動に関する話や火に関する話などをする。	「営火長の〇〇さんから火のことばをお願いします。」
	⑦	分 火 ・③は②の前に集まり、②より火を分けてもらう。そのあと、②のトーチを①に渡して火を消す。	「分火をお願いします。」
	⑧	誓いのことば ・③は井桁の四方の位置に立ち、誓いのことばをのべる。	「営火係から誓いのことばをお願いします。」
	⑨	点 火 ・③は井桁の下の方に点火する。 *点火時は大人による安全確認	「点火して下さい。」
	⑩	炎のうた ・「燃えろよ 燃えろ」をうたう。	「燃えろよ 燃えろをうたいましょう。」
	⑪	キャンプファイヤーのうた ・各団体の実態に合った歌をうたう。	「続いて〇〇をみんなでうたいましょう。」
第二部 親睦の火	⑫	親 睦 ・各団体の計画で、自由に活動を進める。 ・時間配分を事前にしながらスタンツ等のプログラムを立てる。 ・井桁の火が弱くなったときは、井桁の上部の丸太から中に組み入れていく。その際に、井桁が崩れ落ちないように気をつける。	「これで第一部を終わり、第二部に入ります。出し物の準備をお願いします。」
第三部 セレモニー 儀式の火 ファイヤー	⑬	トーチサービス ・円形をつくり、①は井桁からトーチに採火し②にわたす。②より③へ火を移しトーチサービス（全員のトーチに火をつける）をする。 ・点火したトーチは上にあげる。	「名残はつきませんが、これで第二部を終わり第三部セレモニーファイヤーに入ります。全員トーチの準備をして下さい。」 「トーチサービスです。」
	⑭	終わりのうた ・「一日のおわり」を歌詞、続いてハミングでうたう。ハミングの時は、トーチを静かに左右に揺らす。	「“一日の終わり”を歌いましょう。」
	⑮	終わりのことば ・営火長が終わりのことばをのべる。 ・子ども感想でもよい。	「〇〇さんから終わりのことばをお願いします。」
	⑯	わかれのうた ・「今日の日はさようなら」などをうたう。	「最後に“今日の日はさようなら”をうたいましょう。」
	⑰	退 場 ・歌の途中から、①②③の順に無言で静かに退場する。	「〇〇から順に退場して下さい。」

キャンプファイヤー・キャンドルサービスの参考資料

ことばの例

▶ 営火長・火の神のことば

今、点ぜられようとしているこの火は、遠い昔、私どもの先祖が火を使うことを発見してから、人類の文化を大きく育ててきた火であります。そして、果てしない未来につながる希望に輝く火でもあります。ここ、保呂羽山少年自然の家での宿泊自然体験活動が、いつまでも燃える炎のように、心の奥深く、美しく、楽しい思い出になるよう、保呂羽の神にお祈りします。

▶ 営火係・火の守の誓いことば * ことばは実態に合わせて選択してください。

- 友情 「これは友情の火です。私は、いつも広い心で友だちの気持ちを理解し、なかよく助け合って生きていくことをちかいます」
- 希望 「これは希望の火です。私たちはどんな時でも希望を失わずに、未来に向かってすすんでゆくことを誓います。」
- 努力 「これは努力の火です。私たちは初心を忘れず、目標に向かって努力することを誓います。」
- 健康 「これは健康の火です。私たちは心身ともに健康で明るく、命を大切にすることを誓います。」
- 奉仕 「これは奉仕の火です。私たちは困っている人や地域社会に役立つことを、率先して行うことを誓います。」
- 自由 「これは自由の火です。私たちは自分の正しいと思うことを信じ、苦しさを乗り越えて生きていくことを誓います。」
- 勇気 「これは勇気の火です。私は正義を信じて、勇気をもって行動することを誓います。」

▶ おわりのことば

一つの火は小さくとも、それが集まった時には偉大なものになることを学びました。ともに歌い、スタンツに熱中し手を取り合って踊っているうちに、いつの間にか楽しかった時間も過ぎようとしている。今夜のこの火は、無限の可能性を求めてやまない、みんなの情熱にも似ている。みんなの心の灯火は、いつまでも明るく輝き続けることでしょう。

キャンプファイヤーでのおもな歌

遠き山に日は落ちて

1. 遠き山に 日は落ちて
星は空をちりばめぬ
今日のわざを なしおえて
心かろく やすらえば
風はずし このゆうべ
いざや楽しき まどいせん
まどいせん
2. (ハミング)
闇に燃えし かがり火は
炎いまは しずまりて
眠れ安く 憩えよと
誘うごとく 消えゆけば
深き森に 包まれて
いまや楽しき 夢を見ん
夢を見ん

一日の終り

1. 星影さやかに
しずかにふけぬ
つどいの喜び うたうはうれし

～ 間 奏 ～
2. (ハミング)
名残りはつきねど
まどいははてぬ
今日の一日の幸
しずかにおもう

燃えろよ燃えろ

1. 燃えろよ 燃えろよ 炎よ燃えろ
火の粉をまきあげ 天までこがせ
2. 照らせよ 照らせよ 真昼のごとく
炎ようずまき 闇夜を照らせ
3. 燃えろよ 照らせよ 明るく熱く
光と熱との もとなる炎
4. 燃えろよ 燃えろよ 炎よ燃えろ
火の粉をまきあげ 天までこがせ

きょうの日はさようなら

1. いつまでも たえることなく
友だちでいよう
明日の日を 夢見て
希望の道を
2. 空を飛ぶ 鳥のように
自由に生きる
きょうの日は さようなら
またあう日まで
3. 信じ合う よろこびを
大切にしよう
きょうの日は さようなら
またあう日まで
またあう日まで

☆お願いします☆

【キャンプファイヤー】

○トーチ棒 …分火後(点火後)は、水平以下の角度に下げないようにご指導ください。
…トーチサービスが終わった際は、トーチは必ず大人が子どもから受け取って井桁の中にくべるようお願いいたします。

○井桁点火後の扱い…燃え具合を見ながら井桁の上部から順に崩して中心部へ立てていく等のお世話をお願いいたします。

○借用物品は …セレモニー用衣装・マイク・アンプ・延長ドラムコード
→所の玄関へご返却ください。

○井桁の後始末 …専任の方を決め、以下の手順で必ず見届けをお願いいたします。

-----終了後・夜間-----

①就寝時刻頃まで、薪を燃えやすく組み換えるなどして、できるだけ燃やす。

-----翌朝-----

①翌朝、燃え残りに水をかけて完全消火する。
→バケツ

②火が消えて燃え残った薪を灰捨て場へ運ぶ。
→スコップ・一輪車

③営火場のコンクリート部分を掃く。
→ほうき, ちりとり

④用具を所定の場所に返す。